元八王子百景

「八王子城跡」―元八王子町三丁目と下恩方町にまたがる地

戦国期の山城跡。北条氏照が小田原城の支城として築城しました。築城時期は諸説ありますが、元亀三年（一五七二）ころか、天正六年（一五七八）ころ、といわれています。しかし、築城後まもなく天正十八年（一五九〇）に豊臣秀吉の軍勢に攻められ落城しました。平成二年（一九九〇）八王子開市四百年記念事業として大手口石畳、御主殿跡、飛橋などの復元整備工事が行われました。国の指定史跡です。

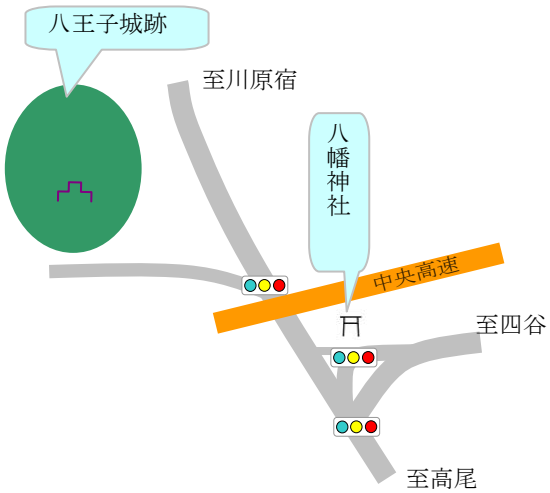
「八幡神社」―元八王子町三丁目

建久二年（一一九一）鎌倉の鶴岡八幡宮の旧神像を源頼朝から梶原景時が拝領し、この地に勧請（かんじょう）しました。

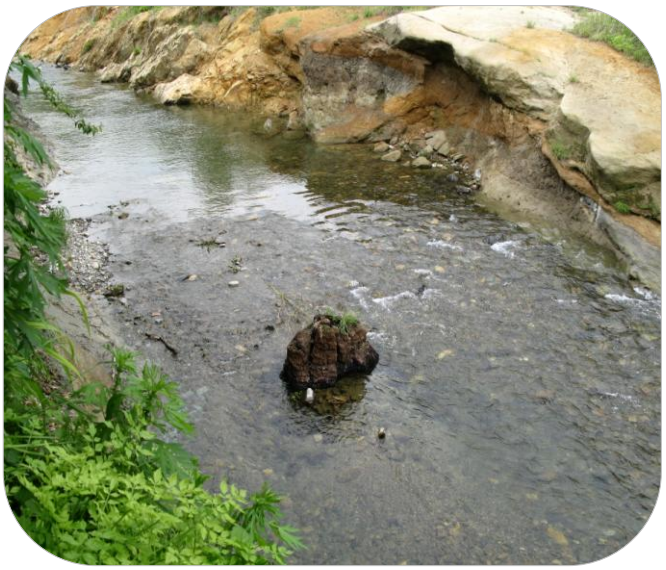
景時が勧請したときに植えたと伝えられる杉は、高さ三十メートル樹周十メートルの巨木で東京都の天然記念物に指定されましたが、残念ながら昭和四十七年（一九七二）枯死してしまいました。現在、切株の部分が残され、そこに建てられた碑には「建久二年梶原景時植之」と刻まれています。

「上壱分方こどもキャンプ場」―上壱分方町

昭和六十一年（一九八六）東京天使病院の南西の隣地に開設されました。広さは一万四千四十三平方メートルで、一度に利用できる定員は二百人です。場内には、桜、



桑、栗、くるみ、どんぐりなど実のなる木や、姿のいい木が適度に配置されています。このキャンプ場の管理を受け持って十四年になる河田弘志さんのお話では、小中学校の生徒の利用や家族づれでの利用が多いそうです。もちろん、どなたでも利用できますが市役所への利用申し込み手続きを忘れずに、とのことです。ここのところ利用者が増加傾向にあり、それはそれでいいことなのですが、炊事場に薪の燃えかすをそのまま残していたり、トイレを汚しっぱなしにするなど、マナーの悪い人がいるので困っているそうです。マナーを守ることの大切さを感じさせられます。



「メタセコイア化石」―北浅川

メタセコイアはスギ科の落葉針葉樹で長い間北半球で化石としてしかその存在が知られていない植物でしたが、昭和二十一年（一九四六）中国の四川省で現生種が発見されたという大変珍しいものです。

昭和四十二年（一九六七）上壱分方小学校裏手の北浅川の河床でこの化石が発見されました

「法泉寺（ほうせんじ）」―大楽寺町

「神戸山法泉寺（ごうどさんほうせんじ）」武蔵国多摩郡横山庄柚井郷

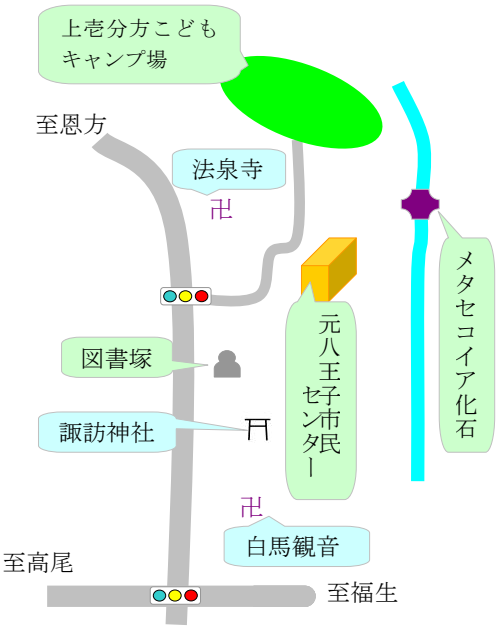
内神戸（現在の八王子市大楽寺町八四）に文亀三年（一五〇三）法泉庵として創建されました。開基は北条氏照公の命を受けて八日市場の経営を一手に引き受けた關山土佐昌清で四国の河野水軍の出身で一遍上人のご親戚です。開山は山田町廣園寺第十九世桃雲源峯禅師です。

・開基は關山土佐昌清　宗派は臨済禅宗南禅寺派

・御本尊は現在阿弥陀如来ですが、以前は十三尊仏でした。

・現、ご住職は第十七代　藤本 宗信 師

境内にある鐘楼は、朝夕六時に毎日撞かれています。



「図書塚」―諏訪町

明治四年（一八七一）元八王子村諏訪宿に生まれた平井鉄太郎は元八王子村明治学校（現、元八小学校）教員として四十六年間勤務しました。その間、村の青年教育のための図書館設立をめざし、俸給・恩給をさいて図書の購入に努めていましたが昭和二十年（一九四五）八月二日の八王子空襲で、六十余年間収集し続けた蔵書を焼失してしまいました。図書館の設立はかないませんでしたが、彼の死後、昭和二十九年（一九五四）十一月に故人と交友の深かった人たちの手で、故人の住居の敷地内に「図書塚」が建てられました。

この塚には「平井鉄太郎先生よ／万巻の書は／戦火に失せたり／されど愛は朽ちず」と記されています。

「諏訪神社」―諏訪町

大地元年（一一二六）長野県の諏訪大社を勧請したものといわれています。杉の古木の鬱蒼（うっそう）と繁る大きな森に囲まれ深奥な雰囲気をたもっていましたが、昭和四一年（一九六六）の台風二六号により社殿、森などがすべて倒壊してしまいました。現在の社殿などの建造物はその後再建されたものです。今、見事な花を咲かせる桜の木も再建当時に植樹したものです。

毎年八月二十六・二十七日の例大祭にはたくさんの露店がならび、また、厄除けの「まんじゅう祭」としても賑わいます。一の鳥居前の陣馬街道には、バス停「諏訪神社」があります。

「白馬観音」―諏訪町

御神体は「観世音菩薩」　八王子三十三観音霊場第十六番札所。元禄六年（一六九三）四月、銅造観音菩薩座像を奉祀。

江戸時代は「仏法山圓乗院浅間寺」という寺院でしたが、明治初期に廃寺となっています。観世音菩薩のほか、白馬像が奉納されているため、白馬観音と呼ばれています。ここは、観音堂であるほか諏訪下町会館としても使われています。

「相即寺（そうそくじ）」―泉町

「東原山相即寺（とうげんざんそうそくじ）」（通称、田中山相即寺（たなかさんそうそくじ））天文十五年（一五四六）八王子市泉町一一三二の現在地に創建されたといわれます。

境内には「万目（まんもく）供養仏」「延命閣地蔵堂」「ランドセル地蔵尊」があります。

・開基は忍誉上人

・宗派は浄土宗　京都智恩院末

・御本尊は阿弥陀如来

・現、ご住職は第二十七代 豊島 康明 師

万目供養仏（まんもくくようぶつ）―安永五年（一七七六）に造立されました。仏師は柚木落合の田中播磨義知。鋳物師は横川滝原の加藤甚右衛門白（はく）鎧（がい）。高さ一・一六ｍの青銅座像。八王子市有形文化財です。

延命閣地蔵堂（えんめいかくじぞうどう）―八王子城落城時の戦死者の冥福を祈るため一五三体の地蔵尊が安

置されています。

ランドセル地蔵尊―昭和一九年（一九四四）の東京大空襲に伴い、東京品川区の原国民学校の児童が相即寺境内にあった幼稚園に学童疎開していました。翌昭和二十年（一九四五）七月八日、児童の一人（神尾明治さん、四年生）が米軍の戦闘機Ｐ５１による銃撃を受け亡くなりました。この児童の母親が地蔵堂の中で明治さんに一番似ているお地蔵さんに明治さんが大切にしていたランドセルを背負わせました。現存しています。

「西蓮寺」―大楽寺町

「涼水山不動院西蓮寺」　永享元年（一四二九）楢原村の浅川北岸に創建され、のちに叶谷に移り、明治二十八年（一八九五）金谷寺と合併し現在地（大楽寺町五六六）に移転しました。

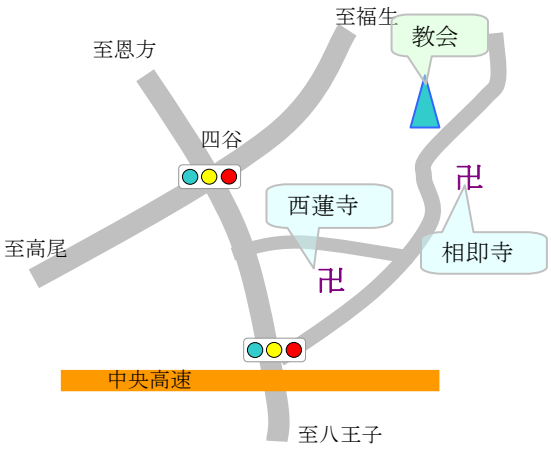
・開基は祐真
・宗派は真言宗智山派
・御本尊は不動明王
・現、ご住職は　薬師寺　浩謙　師

境内には金谷寺所属であった薬師堂があります。この薬師堂は室町末期の建築で、東京都指定有形文化財です。陣馬街道が西蓮寺の横を通る場所のバス停名は「薬師前」となっています。

「カトリック泉町教会」―泉町

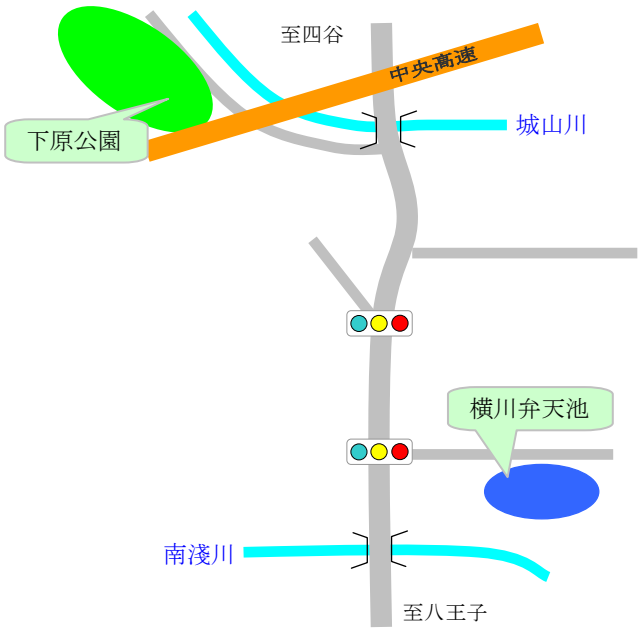
明治六年（一八七三）キリシタン禁制の高札が取り除かれ、以後キリスト教の布教活動が自由になりました。横浜にいたフランス人布教師テストヴィド神父は立川や八王子への信仰圏の拡大に尽力していました。このような中、キリスト教と自由民権運動の活動を行っていた山上卓樹と山口重兵衛は、横浜聖心教会から神父を招請、キリスト教の布教講演を行い、ここを多摩地域のキリスト教の拠点とすることにし、下壱分方村福岡（現在の泉町一二八七）の地に明治十一年（一八七八）「聖瑪利亜教会」を設立、同年十月二日に開堂しました。多摩地域初のキリスト教会です。

「横川弁天池」―横川町



横川町、泉町、叶谷町あたりはきれいな湧水が多いところでした。陣馬街道を水無瀬橋から四谷に向かい初めての信号を北に入り少し進むと右側に横川弁天池があります。ここも清浄な湧水で出来た池でした。残念ながら今は水が涸れてしまっていますが、八王子市の事業として、以前の美しい弁天池の復元計画をすすめています。

「横川下原（したはら）公園」―横川町

平成四年（一九九二）八王子市が刀工山本家の欅山を買収し、欅林の持ち味を生かしながら整備してつくられた自然豊かな公園です。

公園の中には尾瀬の湿原を思わせる木道が欅林を縫うよう敷かれています。真夏の猛暑の時でも、木道の上に立つと、どこかひんやりとした清涼感がただよいます。足元の湿地、頭上に広がる欅の枝葉・・・・・・別世界にさまよい込んだような気分にさせられます。